

## 33—01 P U D T

### 口頭審理の期日指定

1. 請求人、被請求人、商標登録異議申立人、権利者又は代理人と期日調整の依頼書（様式1）により期日を調整する。その際、原則として口頭審理で審理する予定事項を記載した審理事項通知書（→33—08）等も期日調整の依頼書とともに当事者にファクシミリ又は電子メールにより送信する。なお、審理事項通知書の送信に先立って期日を決めるときもある。
2. 期日呼出しは電話・ファクシミリ・電子メールを利用した簡易な方法で行う（特§151→民訴§94、実§41、意§52、商§56）。出頭を担保するため、様式2による期日請書をファクシミリ又は電子メールにて当事者に依頼する。しかし、次のときについては、当事者に様式3による口頭審理期日呼出状を送達する。
  - ① 当事者に電話であらかじめ連絡がとれないとき
  - ② 当事者が呼出状を求めたとき
3. 口頭審理期日呼出状は、原則として期日の2週間前までに送達する。
4. 口頭審理期日呼出状の送達が不能であるときは、公示送達する。

公示送達の効力が発生する日（官報公告の日から20日を経過した日）より前に期日が指定されているときは、期日を変更（→33—02の2.）したのち、公示送達する。
5. 口頭審理を行ったが再度口頭審理を行う必要があるとき、出頭した当事者に対し、期日を告知することが望ましい（→33—01.1）。

（改訂 R2.12）

## [様式1] 期日調整の依頼書

<b>ファクシミリ送信票</b>		令和○年○月○日															
送信先 ○○特許事務所 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">○○○○</div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">様</div>	Tel Fax 原稿枚数 <div style="text-align: right;">○枚（本紙含む）</div>																
<p>無効20××-800○○○ 特許第○○○○○○○○号無効審判事件の口頭審理期日調整の依頼及び審理事項通知書について</p> <p>請求人 ○○○○</p> <p>被請求人 ○○○○</p> <p>1. 口頭審理期日調整の依頼について            本無効審判事件の口頭審理の開催日につきまして、審判長は、下記の日程のうちの1日を計画しております。期日を調整されましてファクシミリ又は電子メールにて送信者へ返信をお願いします。</p> <p style="margin-left: 40px;">なお、口頭審理時間はおよそ ○時間程度を見ております。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">期 日</th> <th style="width: 20%;">開始時間</th> <th style="width: 40%;">ご都合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和○○年○月○日（水曜日）</td> <td>午後○時から</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和○○年○月○日（木曜日）</td> <td>午後○時から</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和○○年○月○日（金曜日）</td> <td>午後○時から</td> <td></td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 都合がよい日：○、都合が悪い日：× を記入してください。</p> <p>2. 審理事項通知書について            口頭審理で審理する事項を別紙の審理事項通知書（期日は未記入です）に記載しましたので、口頭審理の事前準備の参考としてください。            期日決定後に、期日を記入した当該通知書を改めて郵送します（今回送付したものと審理事項に変更はありません）。</p>			期 日	開始時間	ご都合	令和○○年○月○日（水曜日）	午後○時から		令和○○年○月○日（木曜日）	午後○時から		令和○○年○月○日（金曜日）	午後○時から				
期 日	開始時間	ご都合															
令和○○年○月○日（水曜日）	午後○時から																
令和○○年○月○日（木曜日）	午後○時から																
令和○○年○月○日（金曜日）	午後○時から																
送信者 特許庁審判部審判課特許侵害業務室 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">○○○○</div>	電話：03(3581)1101 内線 XXXX FAX：03(3584)XXXX																

## [様式2] 期日請書

期 日 請 書	
令和 年 月 日	
特 許 庁 審 判 長	殿
請 求 人 代 理 人	
被 請 求 人 代 理 人	
請 求 人 ○○○○○	
被請求人 ○○○○○	
上記当事者間の無効20XX-800○○○ 特許第○○○○○○○○号の無効審判事件について 令和 年 月 日(○)午前・午後 時の特許庁審判廷での 口頭審理の期日を請けました。	

(注) 簡易な呼出し、口頭で期日を通知された場合等に用いる。

## [様式 3] 口頭審理期日呼出状

口頭審理期日呼出状	
審判請求の番号	無効 20XX-800000
(特許の番号)	(特許第00000000号)
起案日	令和00年00月00日
審判長 特許庁審判官	00 00
請求人代理人弁理士	00 00 様
審判請求人	00 00
審判被請求人	00 00
<p>この審判事件について、口頭審理期日を令和00年00月00日（○）午後○時○分に指定しましたので、当日特許庁審判廷（特許庁○階）に出頭してください。</p> <p>なお、呼出しを受けた者が、正当な理由がないにもかかわらず出頭しない場合は、10万円以下の過料に処せられることがあります。</p>	
<p>(備考)</p> <p>この呼出状に関するお問い合わせがございましたら、下記までご連絡ください。</p>	
<hr/>	
<p>審判課特許侵害業務室 00 00</p> <p>電話 03(3581)1101 内線 XXXX FAX03(3584)XXXX</p>	

(改訂 R2.12)